

磐城時報

福島縣磐城郡平町結屋町十四
印刷所 加納活版所
電話 一四七五
代金 一ヶ月金五拾銭
廣告料 一行十四字 一月五拾銭
日刊 (日曜、祭日) 休刊

第二回小麦共販 前回以上の成功

出荷二千俵を突破

石城郡農會並に産業組合石城郡
部會聯合主催の小麦第二回共同
販賣は五日平町石城販賣利用組
合倉庫で行つたが、出荷は第一
回が好成績であつた、ゆゑ豫想外
に多く、平驛積出四百七十五俵
泉驛百七十六俵、小川郷驛百十
一俵、植田驛七百三十三俵、勿
來驛百四十六俵、計二千二百二十
八俵で、五日開札の結果横濱市
錢若驛波三等一俵六圓二十二銭
で日本製粉會社横濱工場に落札
した。前回より一俵六銭の高値
であつた。

産業統計 調査員訓練

石城郡下の産業統計調査員訓練
會は左の日程で行ふ。
十五日午後一時草野校(四倉
町外四ヶ村) 十六日午前八時
江名校(江名町外一町五ヶ村)
十七日午前八時植田校(植田
町外三町九ヶ村) 十七日午後
一時平町團體事務所(平町外
九ヶ村)

移讓産税の分配 知事の裁定を仰ぐ

町村のみでは妥協不可能 湯本町長石川徳壽氏談

石城の炭礦關係町村では八年度
から産税半額の地方委託によ
り約五萬圓の新財源を獲得した
が、炭礦所在町村と産税のみを
有してゐないはゆる炭礦關係町
村との間に移讓された税の分配
について紛糾を來たし
一、炭礦所在町村は委託の大
部分は直接炭礦により各種の
影響を受け教育費その他の膨長は語る

平町會召集 高利債借替協議

平町會は八日午前十時召集し左 の諸件を附議する。

一、高利債借替の件
一、縣社八幡神社手洗水給水の
件
一、自轉車寄附採納の件
一、町有地賣却の件
一、第四小學校敷地交渉經過報
告の件

女給生活に憧れ 苦界におちた看護婦

周旋屋に喰物にされ 三月間で借金が三倍になる

大浦村大字上仁井田字南濱卯三フエー松竹に行けといふので行
郎三女賀澤ツタ(二三)は平町一つで見ると今度は借金が五十六
丁目石城産科看護婦學校卒業園になつてゐるばかりでなく酌
後各所で看護婦をなしてゐたが婦業業なので始めて周旋屋に喰
女給が金になる話を聞いたのでひ物にされてゐた事が判り平警
本年四月二十三日午前二十圓で察署に助けを請ひ度いと泣き絶
平町南町カフエーバラダニス事つた。

少年消防隊 赤井校で

赤井小學校では六年生六十余名 を以て少年消防隊を組織する事 となり目下準備中で、來月上旬 發會式を舉行する。

平町區長會

平町區長會は十日午前十時から開き事務
打合せをなす。

腐朽橋梁調査

木課松浦技師は五日午後來郡二
日間郡下の腐朽橋梁實地調査を
行ふ。

八坂神社祭

内郷村大
字八坂神社例祭は五日執行す
る。

弘法大師祭

四倉新町
如來寺境内にある弘法大師祭典
は來る十一日執行する。

辨財天遷宮式

双葉
郡久濱町鶴ヶ淵辨財天の遷宮式
は五日午前九時執行したが、波
立樂師例祭のため多數の出入で
あつた。

磔女校のミシン泥棒 賣り飛ばして捕はる

植田署 十月には完成

縣土木課において三日執行した
植田警察署の新築工事請負は指
名入札五名の處八千七百四十圓
を以て植田町成瀬巴三組に落札
同日縣と契約したから十日頃起
工十月末までに竣工の豫定であ
る。同署應舎は木造鐵網コンク
リート二階建本館二百三十二平
方米で、階下を控室、事務室、
署長室、應接室、電話室、暗室
等に分ち、階上が會議室、調室
司法室、高等室に區分される譯
で、この外九十立方米の附屬
家は看視休憩、刑事、小使の各
室と更に留置監房三室をふくみ
武道室が七十九立方米五、物置
二十六立方米五、廊下、便所を
の他に三十五立方米であるから合
計四百五十九立方米の近代的な
理想の建築である。

平第一校 臨海學校通信

平第一校
臨海學校通信 (三)
今日は朝から氣持よく晴れて
ゐる。潮風に肌身をなでられ
てのラヂオ體操には身も心も
さつぱりした。防波堤を散歩
する。朝食はごこへやら「君
何杯だ、僕五杯目ぞよ」大き
な腹をなでなす。

白土氏の 謠曲稽古場

平町田町喜多流謠曲教授心得白
土喜伯氏は平町に喜多流謠曲と
仕舞稽古場がないのを遺憾とし
田町六十九番地に稽古場を建設
した。

簡閲点呼

四倉町外
三ヶ村の簡閲点呼は五日午前八
時より町校小學校に於て執行し
居たが、各町村共成績良好であつ
た。

訂正

昨報四倉町本町大工職
猪狩太郎(四五)が建築を請
負つて材木を賣り飛ばした記事
は事實相違の点があり關係者
から釋明の申込みがあつた。

淺草ノリ、青ノリ、ホ ンダハラ、フノリ、ツノマ ワカメ、カジメ此れ又多數採 取し腹ペコ、晝飯のあん ころ餅は入ること、それ でも二つ三つ残した者もあつ た様だ。お蔭様で目は細くな り、そつちにごろくこつち にごろく、今日の午睡は一 〇〇点だ。

一時半より眠い目をこすり 競泳に行く。海は入で黒 山の様だ。惜しくも雲が出て 少し寒くなつた。思ひのの 技を出し海國男子の意氣見よ かして水煙を立てた。

第一班 井上朗、筒井博、渡
邊博行
第二班 關内弘吉、野崎文彦
太田仁吾
第三班 鈴木國彦、有賀利雄
柴田讓
第四班 神山勝利、菅田勝之
阿部浩祐
第五班 山浦一陽、片桐一雄
小柳八三郎
第六班 立花久幸、伊藤康夫
富田直彦
第七班 小野勝三、永山恭平
金子博

三時より土人かともちがふ様 な真黒な身體を斜陽に照らさ れながら太平洋の荒波を向ふ に廻はして築城をつくる。波 にさらはれながらやうやく築 き上げたときの氣持は何とも 云はれない。七時より茶話會 机の上の菓子を眺めながら胸 ワク競泳の賞與あり一聲の拍 手、黒い顔にかくせぬ嘔吐。 今夜の夢もたぶん大波を泳ぎ 切つた夢が。さようなら。

訂正

昨報四倉町本町大工職
猪狩太郎(四五)が建築を請
負つて材木を賣り飛ばした記事
は事實相違の点があり關係者
から釋明の申込みがあつた。

夏は海へ!!
賣店は米好!!

毎年御引立を戴いた米好は例年の通り海水浴場の賣店を開設致しました。納涼に、清遊に御出での際は是非御立寄りをお待ちしております。

奉仕的大勉強

四倉海水浴場 米好
大河原 米松

脱衣場開設

毎年御引立を戴いた竹松屋は例年の通り海水浴場の賣店を開設致しました。納涼に清遊に御出ましの際は是非御立寄りをお待ちしております。

並中食 三十五錢より 奉仕的大勉強

四倉海岸脱衣場

竹松屋
新妻 竹次郎

新舞子初音賣店

迎客準備整ふ

地敷網

舟頭付き一日三圓にて御貸し致します

食事一人前三十五錢より

若し宴會等の場合は電話二三六番へ御申込下さい

初音

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

社員募集

外務係社員 五名
集金見習社員 一名

但會社住込二十歳前後男子
詳細は履歴書持參來社あれ

平町田町

シンガール裁縫機械會社 店支
石川 元 康

腸胃性病

内科 胃腸病科
花柳病科 性病科
皮膚病科 婦人科

専門

松村 性病科 胃腸病科
院醫科 (番七〇一電町南町平)

療

間

油と味噌

山崎合名會社

福島縣平町

電話(營業部専用)一〇七番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

製造一袋一賣

菓子・砂糖・各種袋

平町一丁目大南店
鈴木製袋所
川永水洋洗濯店



海水浴着

海水浴用帽子

新舞子イハガキ

カイ玩具類

海水浴にた出での際はぜひ御立寄を

四倉仲町四倉銀行角
オモ子ヤ號

高木商店

急告

酷暑の砌り各位益々御清勝の段奉賀上候。陳者今般凍氷及其他諸原料騰貴の爲止むを得ず本日より左記の通りの値段に改正仕り候間何卒御諒承の上倍舊の御引立に預り度此段急告仕候

八月四日より改正値段

並水 一五錢
種水 一五錢
アイスクリム 一七錢
アズキアイス 一七錢
ミルクセーキ 一七錢
水豆 一十錢

平署管内平町氷水商組合員

(イロハ順)

魚清食堂部
藤市氷店
藤寅氷店
各位

平看護婦會

會長 清野キヨ
平町字南町 電話三〇七番

看護婦派出の需めに應じます

和洋銅鐵金物問屋

金屋商店

諸橋久太郎
電話九九番